

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公表番号】特表2011-502582(P2011-502582A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-532298(P2010-532298)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/12 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/12

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 L 31/00 T

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月31日(2011.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織を通って延在する穿刺を塞ぐシステムであって：

前記穿刺内に送達するために寸法調整された担体であって、少なくとも1の粘着層成分を担持する担体と；

少なくとも1のさらなる粘着層成分を、インサイチュで前記担体に送達するための送達装置と；を含み、

前記少なくとも1の粘着層成分と前記少なくとも1のさらなる粘着層成分との間の接触により、前記担体上に粘着層が生成されることを特徴とするシステム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムにおいて、前記少なくとも1の粘着層成分が、アミン末端ポリマとエステル末端ポリマのうちの少なくとも一方を含むことを特徴とするシステム。

【請求項3】

請求項1に記載のシステムにおいて、前記少なくとも1の粘着層成分が、アミン末端ポリマを含むことを特徴とするシステム。

【請求項4】

請求項3に記載のシステムにおいて、前記アミン末端ポリマが、ポリペプチドを含むことを特徴とするシステム。

【請求項5】

請求項2に記載のシステムにおいて、前記少なくとも1のさらなる粘着層成分が、前記アミン末端ポリマとエステル末端ポリマのうちの他方を含むことを特徴とするシステム。

【請求項6】

請求項2に記載のシステムにおいて、前記少なくとも1の粘着層成分と、前記少なくとも1のさらなる粘着層成分のうちの一方がさらに、ホウ酸ナトリウムを含むことを特徴とするシステム。

【請求項7】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、前記少なくとも 1 の粘着層成分が、アミン末端ポリマを含み、前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分が、ホウ酸ナトリウムを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 8】

請求項 1 に記載のシステムにおいて、前記少なくとも 1 の粘着層成分が、エステル末端ポリマを含み、前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分が、ホウ酸ナトリウムを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 9】

組織を通って延在する穿刺を塞ぐシステムであって：

穿刺内に挿入するために寸法調整された管状部材と、前記管状部材内にスライド可能に配置されるプッシャ部材とを含むカートリッジと；

前記プッシャ部材と遠位の管状部材内に配置される担体であって、少なくとも 1 の粘着層成分を担持する担体と；

少なくとも 1 のさらなる粘着層成分を、前記カートリッジを介して、インサイチュで前記担体に送達するための送達装置と；を具え、

前記少なくとも 1 の粘着層成分と前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分との接触が、前記担体上に粘着層を作成することを特徴とするシステム。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のシステムにおいて、前記送達装置が、前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分を前記担体に送達するために、前記管状部材と、前記プッシャ部材との少なくとも一方に連結されるシリンジを具えることを特徴とするシステム。

【請求項 11】

請求項 9 に記載のシステムにおいて、前記管状部材と前記プッシャ部材の少なくとも一方が、内腔と連通するポートを具え、前記ポートが、前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分を前記内腔を介して前記担体に送達するために、前記送達装置に連通する導管をそこに接続するよう構成されていることを特徴とするシステム。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項に記載のシステムにおいて、前記担体が、生体吸収性の塊を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載のシステムにおいて、前記少なくとも 1 の粘着層成分が、第 1 のヒドロゲル前駆体と、第 2 のヒドロゲル前駆体と、活性化剤とのうちの少なくとも 1 を含み、前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分が、前記第 1 のヒドロゲル前駆体と、第 2 のヒドロゲル前駆体と、前記活性化剤のうちの前記担体によって運ばれない別のものを含み、前記第 1 と第 2 のヒドロゲル前駆体は、前記活性化剤の存在下で、ヒドロゲルを作成するために組み合わされることを特徴とするシステム。

【請求項 14】

請求項 13 に記載のシステムにおいて、前記活性化剤が、pH 調整剤を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 15】

請求項 13 に記載のシステムにおいて、前記少なくとも 1 の粘着層成分と、前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分のうちの一方がさらに、エステル末端ポリマを含むことを特徴とするシステム。

【請求項 16】

請求項 1 乃至 15 のいずれか 1 項に記載のシステムにおいて、前記少なくとも 1 の粘着層成分が少なくとも第 1 と第 2 の成分を含み、前記少なくとも 1 のさらなる粘着層成分が第 3 の成分を含み、前記第 1 、第 2 、および第 3 の成分のうちの少なくとも 2 つがヒドロゲル前駆体を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 17】

請求項 16 に記載のシステムにおいて、第 1 、第 2 、および第 3 の成分のうちの少な

くとも1が、活性化剤を含むことを特徴とするシステム。